

うさぎ組だより

きらら保育園 令和4年11月1日発行

肌に触れる風がだんだんと冷たくなり、朝夕の冷え込みが晩秋の気配を感じさせてくれるようになりました。うさぎ組の子ども達は、そんな寒さも忘れるくらいに友達同士で電車ごっこ、探検ごっこ、牛乳パックの車に乗るなど、元気いっぱい遊んでいます。友達同士での関わりの中で、思いが通らなかったり、互いの思いを受け止められなかったりすると、言い合いになってしまったり、上手く言葉が出ずに手が出てしまった時もあるため、側に付きながら仲立ちをし、伝え方や関わり方を繰り返し伝えていっています。これからも、怪我などの防止に努めながら関わりを見守って行きたいと思っておりますので、何か気になることがありましたら、いつでもお声がけください。

朝夕の気温差があるため、感染症や体調の変化に十分に留意し、健康に過ごせるようにしていきたいと思っております。

動物園に行ってきたよ

10月12日(水)園バスに乗って、大森山動物園に行ってきました。数日前から動物園に行くことを伝えると、「お馬さん見たいな!」「ペンギンさんもいるよね!」などと話し、楽しみにしていた子ども達。動物園に着いておやつを食べてから、園内を見学しました。「フラミンゴ、ブルブル震えてた」「トラさん大きいね」「カピバラさん可愛い」などと話しながら目をキラキラさせ、じっくりと観察していました◎体力も付いてきており、お友達と手を繋ぎながら歩くのもとても上手でした◎保育園に帰ってきてからは、給食をたくさん食べ、お昼寝もぐっすりでした。



運動会

10月7日(金)3階ホールにて運動会を行いました。みんなで「えいえいおー!」とやり、気合い十分な子ども達。練習では、緊張する子どももいましたが、本番では、名前を呼ばれると元気よく返事をし、思い切り走って競技を頑張っていました。また、他の年齢のお友達を「がんばれー!」と声をかけて応援したり、全員での『昆虫太極拳』の踊りや玉入れもしたりして楽しみました。終わってから、メダルやプレゼントをもらえると喜びの子ども達でした♪



粘土遊び大好き♡



粘土遊びが大好きな子ども達は、粘土を握って感触を楽しんだり、「へびみたい」「アイスつくる」など、自分のイメージを表しながら好きな物を作ったりして、じっくりと楽しんでいます。また、はじめは粘土を丸めたり、粘土板での型取りをしたりすることを難しがっていましたが、繰り返し試したり、やってみたりしたことでだんだんと上手になってきました。粘土遊びを通し、指先を使ったり、自分のイメージを表現する幅を広げたりして学んでいます。これからもやってみようとする気持ち・経験、様々な素材に触れる機会を大切にしていきたいと思っております。



~こんなこと頑張っています!~

◎トイレにいきましょう!

自分から「トイレに行く!」と言って意欲的にトイレに行って排泄をしたり、排尿の感覚が分かり、「おしっこでた!」と保育者に知らせ、トイレに行って便器に座るなど、少しずつ排泄が出た感覚が分かり、トイレに行って便座に座ってみようとしたりすることを頑張っています。タイミングが合えばトイレでの排泄が成功することも増えてきました。個人差はありますので、一人一人の発達に合わせて援助や声掛けをしながら、トイレでの排泄を促していっています。家庭と同じようにトイレトレーニングをしたいと思っておりますので、家庭でトレーニングパンツを履いているなど、何か変化がありましたら、いつでもお知らせください。

◎衣服の着脱をやってみよう!

排泄をする際には、ズボン・パンツ・オムツの着脱や、砂場や散歩に行く際は、靴・靴下の着脱を自分でやってみよう頑張っています。上手くできず「できない」「やって」と泣いたり、怒ったりして訴えることもありますが、全部保育者がやってあげるのではなく、さりげなく手伝って自分でやりやすいように援助し、自分でやってみる経験を積み重ねていっています。ズボンのサイズが合わず脱ぎづらかったり、シャツがロンパースタイプで、自分で脱げずに泣いてしまったりする姿が見られるので、自分で脱ぎ着しやすい衣服やオムツ、靴下、靴などの着用をお願いします。

◎スプーン・フォークを正しい持ち方で持ってみよう!

少しずつ、上手持ちから下手持ちに慣れてきており、「こうやって持つんだよね」と保育者に確認しながら意識して持つようになってきています。家庭と同じように箸への移行をしていきたいと思っておりますので、家庭で練習用の箸を使っている、普通の箸を使い始めたなど、変化がありましたら、いつでもお知らせください。